

調理体験

地域づくり活動団体「よらんかい」の皆さんが先生となって、調理体験をしました。

まず、各班に分かれて火熾しと飯ごう炊飯をしました。その後、「石臼で挽いた米粉でピザを作りました。ピザにのせたトマトやナスなどは、自分たちで収穫したものです。

次からあげとする鶏をまるごと1匹さばきました。大人たちの心配をよそに子どもたちは、上手に鶏をさばいていました。他にも、友枝川で釣ったハヤの天ぷら、まるごと1本収穫したキュウリの浅漬け、おにぎりケーキなどなど、趣向を凝らした調理方法を満喫。自分たちで作った一風変わった夕食を楽しそうにいただきました。



課外活動 ①松尾山の歴史を学ぶ

明日登山することとなる「松尾山」にまつわる絵本「松尾山とお薬師さま」を、ボランティアグループ「大平読書クラブ」の方々に読み聞かせをしていただきました。

この本は、松尾山に伝わる伝説がわかりやすく書かれた絵本で、地域づくり活動団体「絵本製作委員会」が作成したものです。子どもたちは熱心にお話を聞き、明日の登山に向けて、ポイントをメモしていました。

課外活動 ②天体観測をしよう

地域づくり活動団体「オーイげんき会」の渡辺先生から、天体望遠鏡の使い方と星にまつわる伝説などを教えていただきました。

この日、西友枝のきれいな星空を天体望遠鏡で観察するはずだったのですが、あいにくの曇り空で星を観察することはできませんでした。しかし、子どもたちは、初めて見る天体望遠鏡に興味深そうに触っていました。



3日目

体験してみよう

松尾山散策 ～松尾山の歴史や史跡を見学しよう～

8月9日(木)早朝、修験道の山として知られる西友枝の「松尾山」の散策に出かけました。

三社神社のある頂上を目指した子どもたちは、汗を拭いながら散策路を登っていきました。途中にある県指定有形民俗文化財「護摩壇」や頂上にある「松尾山の宝塔」については、総合窓口課文化財係の塩濱さん、佐藤さんから説明を受け、熱心に観察し、記録していました。



8月19日(日)午前中、4つの班に分かれ、これまで体験したことまとめ、作業を一人ひとりの意見を自由に発表できるよう、スタップと子どもたちがいっしょになって、ワークショップ形式で行いました。

子どもたちは、協力して、意見や感想などを取りまとめ、「西友枝お宝マップ」を仕上げました。

午後からは、いよいよ保護者の方々をお招きしての発表会。作成したお宝マップを使って、体験から発見した宝に自身の感想を添えて発表します。

「ゆいきららは、珍しい木造建築物で、きれいな自然に囲まれているし、過ごしやすいかった。」

「たいへい苑には、たくさんのお年寄りが安心して生活できる設備が整えられていて、入所している人はみんな元気で笑顔だった。」

「身体障害者の人とのレクリエーションで、お互いに楽しい気持ちになりました。」

「初めてハヤ釣りをして楽しかった。きれいな川を保つため、川を汚さないようにしたい。」

「ほおずきの飾りづくりは、フランスをとるのが難しかったけど、楽しかった。」

「収穫したキュウリの浅漬けがおいしかった。」

「石臼で米粉を作った。力もいるし、大変だったけど、米粉ピザがとてもおいしかった。」

「松尾山の歴史を紙芝居で分かりやすく知ることができてよかった。」



各班の子どもたちは、みんなで発表の役割分担を決め、懸命に発表しました。各班の発表が終わるたび、子どもたちの懸命さに、温かい拍手が贈られました。そして、全ての任務を完了した子どもたちに、社会福祉協議会沼野事務局長から修了証とこうげマップピンバッジが授与されました。

これからもさまざまな体験学習プログラムを通じて、「まちの宝」を子どもたちに伝え、地域への愛着や責任感を育んでいきたいと考えています。ご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。



4日目 考えてみよう

これまでの3日間で盛りだくさんの体験をしてきました。子どもたちは、見たことや聞いたことなどから、それぞれが色々な宝を発見したはず。その宝を「お宝マップ」という形に仕上げ発表します。